

○八尾地区タウンミーティング議事録(概要)

日 時:令和2年10月3日(土)

午前10時から午前11時45分まで

場 所:八尾コミュニティセンター ホール

出席者:73人

テーマ1 令和2年国勢調査について:企画管理部

<主な説明事項>

1 国勢調査の概要

- ・令和2年国勢調査の概要
- ・前回調査との相違点
- ・インターネット回答について

2 調査結果の活用

- ・調査結果によるデータの推移
- ・調査結果の活用事例

【企画管理部の説明に対する質問】

・今回、国勢調査の調査員をやっています。コロナ禍の影響もあり、インターネット回答を推進されているが、高齢者の多い地域にはそぐわないように思います。地域の実情に応じた国勢調査の調査方法にしていくべきではないかと思えます。また、自分の住んでいる町内ではない町内の調査に苦慮しています。調査員は各町内会に任せてはどうでしょうか。さらに調査員への調査書類の送付方法についても見直したほうがよいのではないのでしょうか。

(企画管理部長)

調査員の方々には、日頃より、国勢調査に限らず、様々な調査の調査員をお引き受

けいていただいております、ご協力いただいていることに対し、改めて、感謝申し上げます。

実は私も10年前の平成22年の時に調査員を引き受けまして、約100世帯受け持ち、当時は最低3回行かなければならなかったわけですが、やはり調査員の方のご苦勞というのを自分の肌で実感した経験がございます。今おっしゃられたことは、本当にもっともだと思えます。

個人情報保護、独居老人の増加、多様な世帯構成、個人情報に対する意識など、いろいろと状況が変わってきており、調査そのものが大変しづらくなってきている状況にあると思っております。ですから、これは富山市の調査であっても、国全体の話でありますので、国の方では、調査員の方を直接介しない回答方法による省力化や、回答していただく方の負担をできるだけ軽減するための方策として、インターネットや郵送による回答を進めているわけですが、おっしゃられることは、おそらく様々なところから国にも上がってきていると思えます。

また、今、お聞かせいただいたことにつきましては、機会があれば県を通じてお話をさせていただきたいと思っております。

どうしても回答がない場合は、最後に調査員の方に周辺の地域の方に聞き取りなどをしていただくというようなことになり、大変ご苦勞をおかけすることにつきましては、本当に心から感謝を申し上げて、引き続きご協力のほどお願いいたします。

・国勢調査の回答率について

(企画管理部長)

総務省から発表されている全国の10月1日現在の回答率は、インターネットによる回答率が26.0%、郵送による回答率が10.2%、合わせて36.2%になります。富山市の10月1日現在の回答率は、インターネットによる回答率が35.6%、郵送による回答率が8.1%、合わせて43.7%になります。

前回(平成27年)の富山市の最終的な回答率は、インターネット等による回答率が48.2%、郵送による回答率が32.5%、調査員回収分が19.4%になります。

・デジタル庁について

(企画管理部長)

デジタル庁ができたことにより今後どうなるかということにつきましては、正直、わかりません。しかし、今後、我々の市町村行政においても、電子申請や脱ハンコということが社会的な要請になってくることは間違いありませんので、その要請に応じて進めていかなければならないと考えています。その中で、このような統計調査の調査方法がどのように変わるかということについては、今後、国の方で検討が進められていくものと思っております。

・国勢調査の印刷物や調査員にかかる費用を考えると、今後、マイナンバーカードを調査に活用することで費用の削減につながっていくのではないかと。マイナンバーカードの取得をもっと進めていくべきだと思います。

(企画管理部長)

先月からマイナンバーカード取得促進のために、マイナポイント制度が開始されています。その内容は、クレジットカードなどの様々なキャッシュレス決済サービスと紐づけをし、購入金額の25%が還元されるというものです。

この制度が導入されるということで、市役所の市民課でも、多くの方が新規にマイナンバーカードを取得するために、窓口にいらっしゃいました。このように、マイナンバーカードの取得率を向上させるための施策が、今後も出てくると思います。先般の定額給付金の支払い遅延の問題等もありましたので、そのような意味でも、国では取得率の向上が目指されています。憶測ではありますが、国勢調査においても、将来的にはマイナンバーカードの活用も考えられると思います。それにより、貴重な紙資源の使用削減、税金の軽減にもつなげていかなければならないと思っております。

今後、総務省等にもご意見をしっかりと伝えていきたいと考えております。

テーマ2 富山市の子育て支援策について:こども家庭部

<主な説明事項>

- 1 富山市の人口と子ども割合の推移
- 2 合計特殊出生率の推移
- 3 こども家庭部の主な事業

【こども家庭部の説明に対する質問】

なし

【その他意見交換】

・マイナンバー制度が始まってから数年が経ち、マイナンバーに対する意識も変わってきていると思います。住民が問題意識をもって考えられるテーマとして、ぜひ、タウンミーティングでマイナンバー制度を取り上げてもらいたいです。

(企画管理部長)

来年度以降のテーマにつきましては、ご意見を参考にさせていただきたいと思えます。また、タウンミーティング以外にも、富山市では出前講座をやっております。町内会単位、職場単位でも、要請があれば担当課がお伺いして、皆様にご説明する機会がありますので、そちらもご利用いただければと思います。

※発言の一部を整理して掲載しています(広報課)